

10月23日のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナの反転攻勢はタイムアウト、ロシアとの交渉に応じていれば領土は失わなかった=米メディア(2023年10月21日)

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領はもっと早くロシアと平和条約を締結しなかったことを後悔することになる。ジャーナリストのテッド・スナイダー氏が米メディア、ナショナル・インタレストの記事で指摘した。

記事によると、紛争が始まって以来、ウクライナには外交で紛争を終わらせる機会が3回もあったが、そのたびに米国政府が交渉を阻止したという。ウクライナはいずれ停戦合意に署名しなければならないが、条件は悪くなるばかりだと指摘した。また、この紛争はウクライナ軍の勝利で終わらないどころか、交渉の場で主要な要求をロシア側につきつけることもできないとの認識が西側では広がっているとのこと。

スナイダー氏はウクライナ側の困難な選択について、「ドンバス、ヘルソン、ザポロジエの一部を失ったうえで中立を約束することになるが、(最初の交渉時点であれば)まだ維持できただろうに」と指摘する。

また、フランス・メディアの Front Populaire によると、ウクライナは4つの条件(失った領土の放棄、中立化、ロシア語の保護、非軍事化)を受け入れざるをえないという。ただし、こうした条件を現政権が受け入れる見込みはない。一方で際限なく犠牲者を生み出すことも受け入れがたいとメディアは指摘している。

ウクライナ軍は数ヶ月にわたって反転攻勢を継続しているものの、ニューズウィークが軍や専門家を引用して報じたところによると、秋から冬にかけてロシア側から陣地を奪還する見込みは既がないという。

ウクライナ軍は兵力不足にも悩まされている。ウクライナ・メディア「ストラナ」によると、国内では現在、一部の障がい者や負傷者に対する訓練が始まっているという。これらの市民も訓練後、戦地に送られると報じられている。

先にウクライナ経済省は工兵の無料訓練について発表していた。工兵の訓練対象者には障がい者も含まれている。



<https://sputniknews.jp/20231021/17505798.html>

②「今は停戦の時ではない」、米国がウクライナ向けの弾薬を中東に供与=米メディア(2023年10月21日)

米軍はウクライナ向けに確保していた数万発の弾薬をイスラエルに供与する。イスラエル政府関係者の話として米メディア、アクシオスが報じた。

報道によると、米国防総省はウクライナ向けの 155 ミリ砲弾数万発をイスラエルに供与するという。これらの弾薬は緊急事態用のもので、米国内の兵器庫で数カ月前に発見されていた。消息筋によると、イスラエルへの兵器供与がウクライナ軍の戦闘能力に直接的影響を与えることはない模様。

国防総省のパトリック・ライダー報道官によると、米国からは既に弾薬を含む軍事援助の第一弾が現地に到着している模様。具体的には統合直接攻撃弾(JDAM)、精密誘導爆弾(SDB)、155mm 砲弾などが含まれる。報道官によると、イスラエルは対ミサイル・システム「アイアン・ドーム」も追加で受け取るとのこと。

兵器供与が行われる中、米務省のマシュー・ミラー報道官は中東の現状について、イスラム主義組織「ハマス」とイスラエル間の和解を仲介する時期ではないと表明した。ミラー報道官は記者団に対し、「調停の可能性に関して言えば、現時点で適切な措置は調停ではなく、イスラエルが他のあらゆる国と同様に自衛のために行動することだ」と語った。また、ガザの病院で起きた悲劇に関する国際調査は適切ではないとの考えも示した。「イスラエルはすでに十分な証拠を提供している」とし、イスラエル側の関与を改めて否定した。



<https://sputniknews.jp/20231021/17505235.html>

③イスラエルはガザ制圧後に占領か、パレスチナへの返還は「嘘」=現地紙(2023 年 10 月 21 日)

イスラエル政府はガザ地区を制圧した後、同地区の管理をパレスチナ自治政府(PNA)へ移管する予定はない。タイムズ・オブ・イスラエル紙が報じた。

これまでの報道によると、政府はイスラム主義組織「ハマス」を殲滅した後にガザ地区で PNA の権力を回復させる可能性を検討しているとされていた。

一方、タイムズ・オブ・イスラエル紙はネタニヤフ首相官邸の声明を引用し、ガザ地区をパレスチナ自治政府やその他の政党に譲渡するという決定に関する話は「すべて嘘」と報じている。

なお、ブルームバーグ通信が情報筋の話として報じたところによると、欧米はカタールによる協力の元、人質解放に関する秘密交渉の時間を稼ぐため、ガザ地区での地上作戦延期をイスラエル側に求めているとのこと。

ハマスとの交渉はデリケートで失敗する可能性もあるものの、パレスチナ人捕虜の釈放をイスラエル側に要求することなく、ハマスが一部の民間人釈放に合意する兆しはあると報じられている。



<https://sputniknews.jp/20231021/17504684.html>

④トゥーンベリがガザへの連帯を表明、イスラエルは「テロ支援」と反発(2023年10月21日)

環境活動家のグreta・トゥーンベリさんは SNS の X でパレスチナ及びガザ地区への支持を表明した。これに対し、イスラエル側は反発を強めている。

トゥーンベリさんは SNS への投稿で、「私たちは今日、パレスチナとガザに連帯してストライキを行っています。世界は声を上げ、即時停戦、正義、そしてパレスチナ人とすべての民間人釈放を求めるべきです」と記した。

写真でトゥーンベリさんとその仲間たちは「パレスチナ解放」と「ガザ支援」というスローガンが記されたポスターを掲げている。また、「ユダヤ人の私もパレスチナと共にいる」と記したポスターも確認できる。

これに対し、イスラエル国防軍のアーリエ・シャルズ・シャリカール報道官は米紙ポリティコのインタビューでトゥーンベリさんを批判した。報道官はポリティコに対し、「何らかの形で自らをグretaと同一視するものは誰であれテロ支援者である」と指摘した。トゥーンベリさんはガザ地区への連帯を示しているものの、イスラエルに対する攻撃には言及していないことを報道官は批判した。そのうえで、トゥーンベリさんの行為はパレスチナ支持ではなく、イスラム主義勢力の犯罪を隠ぺいする行為に他ならないと強調した。



<https://sputniknews.jp/20231021/17505235.html>

⑤【解説】ハマスの迷宮 イスラエル軍の悪夢となる全長 500 キロの地下トンネルとは (2023 年 10 月 20 日)

イスラエル・パレスチナ紛争の激化からはや 2 週間が経ったが、イスラエルは宣言していたガザ地区への本格的な地上作戦を躊躇している。この背景にはハマスが建設した「ガザ地下鉄」と呼ばれる広大なトンネル網の存在がありそうだ。スポーツニクはこれまでの各国の報道、軍や研究機関の報告書などをもとに、ガザ地区の地下に広がる迷宮について分かっていることをまとめた。

市街戦はハマ스에有利

イスラエルが本格的な地上作戦に踏み切れない理由としては、ハマス側がイスラエル人の人質をとっていること、諸外国からの民間人犠牲に対する懸念、北部で国境を接するレバノンの武装組織ヒズボラの本格参戦を招くリスクなど、様々な政治的、戦略的要因があげられている。

だが純軍事的な理由としては、ガザに密集する 3 万人ともいわれるハマスの戦闘員を相手に、イスラエル軍が戦場での優位性を確保できない恐れからくる軍指導部のためらいがあるとされる。すでにガザ地区ではイスラエルの空爆によって瓦礫の山となっており、待伏せや狙撃に最適な要塞と化している。

米現代戦争研究所が 2021 年にまとめた報告書によると、市街戦では基本的に防御側が有利といわれる。

「今日の戦争では軍備で劣る勢力が、市街戦に持ち込むことで得られるメリットは大きい。建物などを遮蔽物として身を守るとともに、民間インフラや地下トンネルを利用した機動作戦も可能になる。しかも、防御側は戦時国際法で保護対象に定められた民間人の住居や建物の中に隠れることもできる。こうして、相手が持つ現代兵器や戦術の有効性を低下させる可能性がある」

米現代戦争研究所

言い換えれば、市街戦の条件下では、突撃銃や手榴弾、対戦車砲などの比較的軽装備のハマス側と、重装甲戦車、航空戦力、砲兵戦力などの洗練された部隊を持つイスラエル軍が均衡状態になる可能性がある。ハマス側はただ指を加えてイスラエル軍の進撃を見るわけではなく、地下や瓦礫の山に隠れて空爆や砲撃を生き延び、次の日の戦いに備えることができる。しかも、ハマス側には自分たちのホームグラウンドという利点もある。

ガザの「地下鉄」

ハマスは 40 年近くにわたり、ガザ地区各地でトンネル採掘を続けてきた。ハマスや武装組織は広大なトンネル網を使い、厳重に要塞化されたイスラエルの国境をかいくぐり、武器や物資の密輸を行ってきた。このトンネル網は戦闘員や装備の避難、移動経路として機能し、地下司令室、武器製造工場の役割も担っているとされる。

トンネルの入り口は建物や木々、複雑な地形の下に隠れていることが多く、イスラエルの軍や諜報機関の情報網をもってしても、簡単には見つけられない。近年ではトンネルの長さ、強度、複雑性も増してきている。昨年、イスラエル軍の特殊部隊は、地下 70 メートルに位置する地下空間を発見。この深さがあれば、イスラエル軍の最も強力な爆弾による攻撃も耐えられる。

また、トンネルは比較的安価かつ短期間で建設できる。イスラエル軍が 2014 年にまとめた報告書によると、トンネル 1 施設あたりの平均建設費用は約 10 万ドル(1500 万円)と推定され、イスラエル軍の対空防衛システム・アイアンドームで使われるミサイル 1 発の値段と同じ程度だ。しかも、建設期間は約 3 ヶ月とみられている。

これまでの現地報道によると、イスラエル軍は 2014 年の衝突時だけでも、ガザ地区の地下に全長 100 キロの地下通路を発見。2021 年、ハマスはトンネル網が全長 500 キロに達したと明かしている。イスラエル軍がこれまでにまとめたハマスの地下トンネル地図をみると、北部を中心とした広範囲に地下迷宮が準備されていることが分かる。

対策不可能な悪夢

ハマスのトンネル作戦は、イスラエル軍の士気に多大な影響を与えることになりうる。米安全保障アナリストのブラッドリー・ボウマン氏は、米メディア ABC に対し「イスラエルの突撃部隊にとっては悪夢となる」と語っている。

「戦地に入って都市郊外を前進していると、それまで何もなかった自分たちの後ろに突如敵兵が現れる。市街地のブロックから次のブロック、建物から別の建物に移動する際、いつでも白兵戦になるリスクがある。これは非常に残酷なものとなる」

ブラッドリー・ボウマン(米安全保障アナリスト)

イスラエル軍のジョナサン・コンリクス報道官も、「ハマスはガザ地区の奥や地下に潜り込んでいるため、根こそぎにするするのは簡単ではない」と認めている。さらに、今回もすでにイスラエル軍の攻撃から身を守ったり、ロケット弾を隠したりするのに地下トンネルが使われていると主張している。現代戦争研究所のジョン・スペンサー氏も、イスラエルが地上攻撃を決行したとしても、軍を待ち受ける「地下トンネル問題」への対策はないと指摘する。

「ハマスはすでにイスラエル軍の地上作戦に備えて、すでに政治指導部、戦闘員、司令部、通信、武器、弾薬、水、食料などの物資をトンネル内に配置しているだろう。これにより、イスラエルが大規模爆撃を行った後でも、ハマスの兵力は安全かつ自由に移動ができる。地下施設内には発電施設、水道管、換気扇など設備も整っており、包囲戦になったとしても対応できる。いざとなれば、ハマス指導者らや戦闘員はトンネルを使って戦闘区域外に退避することもできる」

ジョン・スペンサー(現代戦争研究所)

強力な武器をもたないハマスだが、地下トンネルを利用することでイスラエル軍への背後からの奇襲攻撃が可能になり、大混乱をもたらすことができる。さらに、イスラエル軍がトンネルを攻略しようとしても、暗視ゴーグルや通信機器などを揃える必要があるため、一筋縄ではいかない。

もちろん、イスラエル軍も無防備で突撃することはなく、トンネルの発見や破壊のために特別に訓練された軍用犬やロボットを使うと想定される。それでも、ガザ地下トンネル網はイスラエルの対処能力をはるかに超えているとみられ、結局は発見した工兵、歩兵がその都度、現場で対応するという古典的方法しかないとスペンサー氏は締めくくった。

ヒズボラ戦の苦い教訓

実際にイスラエル軍は 2006 年のレバノン戦争で、過激派組織ヒズボラのトンネル作戦に手を焼いた苦い思い出がある。わずか 1000 人ほどの高度に訓練されたヒズボラ戦闘員が、10～30 倍の兵力のイスラエル軍を引き付けた。

このときのトンネルを利用した奇襲、かく乱戦法はイスラエル軍を「驚かせた」と伝えられている。結局、イスラエル側は死者 121 人、負傷者 1200 人以上、戦車 20 両以上の大損害を出し、国連の仲介によるレバノン撤退を余儀なくされるという戦略的敗北を喫した。

今回イスラエルと対峙するハマスは、ヒズボラとの関係も指摘されている。レバノンでの教訓が、この 2 週間にイスラエルの政治指導者や軍司令官の頭を悩ませる種となっていることは、想像に難くない。



https://sputniknews.jp/20231020/500-17493491.html?rcmd_alg=collaboration2

⑥【解説】ロシア軍の新兵器についてわかっていること TOS-2 の何がそんなに危険なのか?(2023年10月21日)

今週、ロシア軍の恐ろしい新兵器、重火力投射システム TOS-2「トソーチカ」が、特別軍事作戦の実施地域にすでに配備されていることが明らかになった。ロシア国防省が発表した。TOS-2 とは何か、またこの新兵器が敵の歩兵や軽量の装甲車両にとってなぜそれほど危険なのかをスプートニクがご説明する。

TOS-2 は、ロシアの「重火力投射」システムの最新バージョンで、本質的には燃料気化爆弾を搭載したロケット弾を発射する多連装ロケット砲。その最初のシステムである TOS-1「ブラチーノ」は1970年代に開発され、旧ソ連のアフガン戦争に参加した。

TOS-1 と TOS-2 の違いは?

TOS-1 とその後継の TOS-1A「ソルンツェペク」では、T-72 戦車の車台が使用されているが、TOS-2 では総輪駆動トラック「ウラル」の車台が使われている。タイヤ式車台のおかげでキャタピラ式の前任車両よりも機動性が高いほか、それらよりもはるかに軽量(TOS-1A の重量が 46 トンであるのに対して、TOS-2 はわずか 20 トン)。

また新しい電子戦システムは敵の精密兵器に対する TOS-2 の防御を強化しており、射撃統制システムは精度を大幅に向上させている。

さらに、TOS-2 にはクレーン・マニピュレーターが搭載されているため、特別な輸送積込み機械は必要ない。

TOS-2 の射程はどのくらいか?

新タイプの弾薬は、「トソーチカ」がより遠くの標的を攻撃するのを可能にしている。TOS-1A の最大射程は 6 キロだが、TOS-2 の最大射程は少なくとも 10 キロ(一部の軍事専門家によると、最大射程は 14~15 キロ)。

また、発射管数 24 本の TOS-1A は最大 4 万平方メートルの範囲を焼き払うことができるが、発射管数が 18 本に減少したものの TOS-2 の一斉射撃は 6 万平方メートルの範囲を「灼熱地獄」に変えることができる。

搭載されている燃料気化爆弾により、TOS-2 は屋外や塹壕で敵の歩兵を殲滅したり、要塞を破壊したり、軽量の装甲車両を燃えさかる金属くずの山に変えるための理想的な兵器となっている。

ロシアは TOS をどれくらい保有しているのか？

現在ロシアが保有している TOS-1 及び TOS-2 発射機の正確な数を、オープンソースデータのみに基づいて推定するのは難しい。なぜなら、特に現在進行中のウクライナ紛争を背景に、ロシアの軍や治安当局者はそのような情報について、当然のことながら、沈黙を保っているからだ。

一方、ロシアメディアは 2018 年、当時ロシア軍は TOS-1A 兵器システムを「70 以上」受け取る予定だと報じていた。



<https://sputniknews.jp/20231021/tos-2-17507049.html>

⑦「攻撃が停止したら人質全員を解放します」バセム・ナウム博士 Hamas Dr Basem Naim 2023/10/17

日本では報道されていないのではないのでしょうか？ハマスはイスラエルからの攻撃が止まれば、民間人の人質を全員解放すると言っています。

<https://twitter.com/i/status/1715661739222524007>



https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1715661739222524007?s=09

⑧「命中しなかった」 ATACMS はウクライナ軍の役に立たず = 英誌(2023年10月22日)

英誌スペクテイターは、米国がウクライナに供与した長距離ミサイル「ATACMS(エイタクムス)」について、ロシア軍は効果的に対処することに成功していると報じた。

同誌は「ほとんどの ATACMS が、どうやら迎撃、欺瞞、または別の方法によって標的に命中しなかった」と指摘した。

スペクテイターによると、ロシアは長距離ミサイルから海洋ドローンまで、ウクライナに供与されるあらゆる兵器に対処する用意を示しているため、西側の新たな支援によって前線の状況が変わることはない。

スペクテイターは最後に「ウクライナ軍は任務を遂行できなかったが、ロシア軍はおそろべき防衛線を構築し、予想以上に果敢であり、適応能力があることが判明した」と強調している。

米国家安全保障会議(NSC)のエイドリアン・ワトソン報道官は先に、米国が最近ウクライナに ATACMS を引き渡したことを明らかにした。射程が 165 キロに短縮された ATACMS の供与は、事前に発表されていなかった。

これより先、ウクライナ軍に供与された ATACMS の欠点について米記者が語った。



<https://sputniknews.jp/20231022/-atacms-17506601.html>



⑨バイデン大統領(へ)の衝撃的なメモ(2023年10月21日)

あなたはルーズベルトルームに入り、ハローと言う

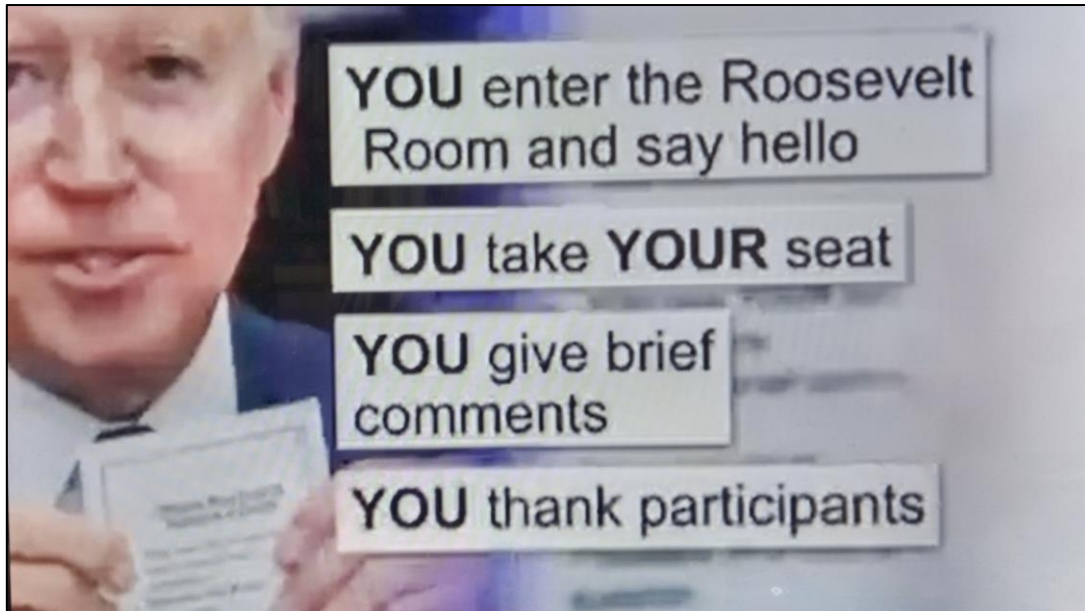
あなたは席に着く

あなたは簡単なコメントを言う

あなたは参加者にありがとうと言う

あなたは出発

<https://twitter.com/i/status/1715652861919658467>



<https://twitter.com/bizaglance/status/1715652861919658467?s=09>

⑩元財務次官補ポール・クレイグ・ロバーツ(2023年10月21日)

ポール・クレイグ・ロバーツは、イスラエルとパレスチナの対立がエスカレートすればロシアとウクライナの対立は完全に影を潜めるだろう。

なぜなら、より危険な紛争となり、より多くの国を巻き込む事になるからだ。つまり中東が戦争の炎に包まれ石油供給や石油価格にどのような影響を及ぼすか、イスラエルが破壊されアメリカが敗北する可能性さえある。それをワシントンでどう受け止められるか。

この場所でも敗北を受け入れるのか？それともボタンを押してしまうのか？

これは欧州とアメリカ帝国を恐怖に陥れる。しかしアメリカ国民はいつものように何も気付いていない。



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1715596221883293968?s=09>

⑪鈴木宗男氏が外交の本質(2023年10月21日)

※投稿者コメント:鈴木宗男氏が外交の本質を語っています。

岸田政権はロシアに対して先に喧嘩を売りました。

日本の政治家はそれを分かっていない。

安倍元首相はオバマからのロシア制裁圧力に対して NO！ を突きつけたとの事。

岸田首相はバイデンに NO どころか、

ワン！と返事するだけです…

<https://twitter.com/i/status/1715572196192690357>



<https://twitter.com/PoppinCoco/status/1715572196192690357>

⑫民間人の多くはハマスと無関係ですが？(2023年10月21日)

イスラエル、ヘルツォグ大統領

悪の組織を私たちの家の前に構築した国(パレスチナ、ガザ)があるのです。その国民全体に責任があるのです。民間人は関与していないというレトリックは事実ではありません。彼らは邪悪な(ハマス)政権と戦うこともできたはずで

<https://twitter.com/i/status/1715527172096393709>



https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1715527172096393709?s=09

⑬【CNN にエジプト女性が叫ぶ】(2023年10月21日)

あなたは非難しないのか？

あなた方 CNN はどこにいる？

この状況を取り上げているのか？

報じているのか？

本当のことを言え！

あなたが雇われジャーナリストだって、私たちは知ってるよ。決まり切ったことを言うただの操り人形だって。

人間として私と話しなよ。人間として私に話してくれ。

(CNN のクラリッサ・ワードが前に進む)

ありがとう。

あなたにはあなたの外交政策があるだろう。

いや、あなたに聞いてない。聞いてない、私の言うことを聞け。

あなたにはあなたの外交政策があるのは理解している。あなたはおたくの政府に代わってしゃべってることも、あなたが政府を代表していることもわかってる。その政府とは表現の自由を叫んでる国の政府だ。

あなた個人のものである民主主義は、この事実をハマスの存在に持っていくのか？

私たちはこうして占領を見てる。

私たちはあなたの沈黙の結果を見ている。

あなたの歪曲の結果を見ている。

<https://twitter.com/i/status/1715615544093909122>



https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1715615544093909122?s=09